

令和5年度

笠間市社会教育委員会議資料

日 時：令和5年 5月25日（木）
午後2時～

場 所：笠間市役所
議会/行政棟2階 2-6・2-7 会議室

笠間市教育委員会教育部 生涯学習課

会 議 次 第

- 1 開 会
- 2 教育長あいさつ
- 3 議長あいさつ
- 4 報告及び協議事項
 - (1) 令和4年度事業報告について
 - (2) 令和5年度事業計画について
- 5 その他
- 6 閉 会

令和4年度事業報告

○社会教育グループ

1. 事業関係

事業名	期日	事業内容	備考
1. 社会教育委員	5月25日(水)	笠間市社会教育委員会議並びに公民館運営審議会 ・令和3年度事業報告 ・令和4年度事業計画説明	笠間市役所
	7月21日(木)	茨城県社会教育委員連絡協議会第1回理事会および理事研修会 川崎委員出席	茨城県教育研修センター
		茨城県社会教育委員連絡協議会総会及び研修会 川崎委員 枝川委員 高橋委員 平澤委員 藤岡委員出席	
10月11日(火)	社会教育委員研修(水戸・県北・鹿行地区) 川崎委員出席	茨城県水戸合同庁舎	
2. 家庭教育学級事業	通年	市内全域の幼稚園、保育所(園)、こども園、小中学校、義務教育学校の保護者を対象に、各学年に応じ家庭での教育力の向上を図るため指導助言や講演会等を行った。 34学級 延べ101回開催 参加者4,730名	各学校等
		市内の事業所の従業員、担当者を対象に家庭教育に関する講話及び資料配布等を行った。 19事業所 延べ 約3,000名	市内企業
3. 人権教育推進事業	11月20日(日)	市民の人権意識の高揚を図るとともに、人権問題に対する理解と認識を目的に、一般市民、学校関係、各種団体を対象に講演会を開催。 講師：腰塚 勇人 演題：命の授業 ～ドリー夢メーカーと今を生きる～ 笠間中学校吹奏楽部による演奏を開催。 参加者：336名 (会場：310名・YouTubeLive：26名)	笠間公民館 大ホール
4. 青少年相談員事業	通年	地域の青少年健全育成の推進を目的に、学識経験者並びに学校等の推薦者42名で、訪問活動などを行っている。 ・青少年相談員全体会(5.26) ・青少年の健全育成に協力する店への訪問活動 ・茨城県青少年相談員第37期研修会(2.5) (オンライン開催) 【新たな活動】 笠間市高校生会と連携を図り、共同での事業を4回開催。	
5. 二十歳の集い事業	令和5年 1月8日(日)	新たな人生の門出を祝福して二十歳の集いを開催。 参加者559名(該当者763名 出席率73.3%) 二十歳の集い実行委員会(13名)による運営	笠間市民体育館

団 体 名	期 日	事 業 内 容	備 考
6. 寺子屋事業	開催時期 5月～3月 毎週 土曜日 9:00～ 12:10 開講式 5月14日	学校休業日に子ども達の学びの機会づくり、学習の場づくりの一つとして実施し、学ぶ楽しさの体感を通して、学習意欲の高揚と学力の向上を目的に実施。 ・小学5・6年生を対象に英語・国語・算数・自主学習を行う。 笠間地区 5年生16名 ・ 6年生24名 友部地区 5年生27名 ・ 6年生29名 岩間地区 5年生13名 ・ 6年生16名 計125名 開催日数 42日間 夏季特別講座を8日間開催 (8.2～19)	笠間公民館 友部公民館 岩間公民館
7. 笠間市リーダーズクラブ (高校生会)	通年 ※定例会：毎月 第1,3木曜日	高校生による自主活動により会員相互の親睦を図り、学生生活の在り方・自己の向上・地域のボランティア活動等を目的に活動をしている。 【定例会】21回 【主催事業】 ①「運動会」(6.12) ②「お寺訪問」(8.27) ③「人権教育講演会」(11.20) 【他市町村高校生会との交流事業】 ①「いばらきハイスクール議会2022」 (8.11/8.12) 【要請事業】 ①「駅前ウォークラリー 親子でさんぽ！」(5.4) ②「キッズフリーマーケット」(5.5) ③「映画上映会」(6.4) ④「道の駅かサマースクール」(8.21) ⑤「こうさくたいけん」(8.28) ⑥「ファミリーコンサート」(9.3) ⑦「台湾留学生交流会」(9.23) ⑧「バスケットボランティア」(12.4) ⑨「第二回田んぼでタグラグビー」(R5.1.29)	定例会：地域 交流センター ともベTom o a
8. いばらきっ子郷土検 定事業	①市町村大会 10月18日 ②県大会 R5年2月4日	子どもたちの郷土を愛する心を醸成するために、茨城県独自の郷土検定を実施。 ①市町村大会：各中学校義務教育学校において実施市町村及び県問題により個人認定表彰 受験者数：494名、認定1級0名、2級10名、3級48名 ②県大会：市町村代表校によるクイズ形式対抗戦により、優勝校を決定 県大会（県内45校参加） 笠間市代表：笠間中学校	県内全中学・ 義務教育学校 2年生・8年生
9. 学校生活学習支援事業	7月～2月 毎週土曜日 13:30～16:00	かさま チャレンジ・スタディールーム ・生活困窮状態にある世帯の中学生とその保護者等に対し、学習支援や教育相談を行い、学習習慣・生活習慣の確立や学習意欲の向上を図る。 対象：中学1年生～3年生 義務教育学校7年生～9年生 笠間6名、友部10名、岩間4名 計20名 開催日数：30日間	笠間公民館 友部公民館 岩間公民館
10. 笠間市自然体験学習 補助金	通年	社会教育関係団体が市内小学生を対象とした事業を展開していくために必要な経費に対する補助金を交付する。 ・事業開催がなかったため、交付を行わなかった。	

団 体 名	期 日	事 業 内 容	備 考
11. 公営住宅入居者学習支援事業	4月～3月 毎週月・木曜日 18:00～21:00	稲田小中学校に通学している小学5年生～中学3年生を対象に、学習支援教室を実施。児童生徒の学習意欲の向上や子育て世帯の負担軽減を図り、福原地区への定住者増加を目的とする。 ・参加者：延べ8名	県営福原ア パート集会所
12. 【新規】大学生等生活支援給付金事業（新型コロナ創成交付金）	8月～3月	物価高騰等の影響を受けている大学生等の生活支援をマイナンバーカード取得を条件に、給付金事業を実施した。 申請人数 920名 給付人数 911名 給付内容 QUOカードPay20,000円/名	臨時事業

2. 関係団体

団 体 名	期 日	事 業 内 容	備 考
笠間市子ども会育成連合会	【中止】	笠間市・矢板市子ども会交流事業 ・姉妹都市矢板市子ども会と体験学習を通して親睦を図り、これからの子ども会活動に活かす。	5月22日又は 29日（日）
	【中止】	友・遊ランド 支部単位子ども会の活性化を図ると共に、地域の異年齢間の交流団結力を高めることにより郷土愛を育む。	6月予定
	【中止】	球技大会：ドッジボール ・子ども会員相互の体力強化を図り、球技大会を通して協調性と忍耐力を培い共通の目的を持つ共同体意識を要請する。	8月8日 （日・祝） 予定
	9月4日（日）～ 9月23日（金）	夏休み子ども作品コンクール ・少子化社会におけるかけがえのない子どもたちを健全に育む。文化制作事業として絵画や工作などの創作活動により、創造性を高めるとともに、自由な発想創作により思考力を養うことを目的に開催。	
	【中止】	リーダー研修会 ・各地区子ども会活動の中心となる小学4～6年生を対象にリーダーとしての自覚を養い交流会を通して、各支部を超えた親睦と友達づくりを図る	2月23日 （祝・水） 予定
	3月	子ども会勧誘広報事業 ・子ども会活動を周知するため、広報紙9,000部を作成し、市内全域の幼稚園、保育所（園）、こども園、小中学校、義務教育学校、公民館等施設に配布した。	
笠間市地域女性団体連絡会	通年	・各種募金運動 ・茨城県地域女性団体連絡会大会他各種会議	
青少年育成岩間地区市民の会	通年	水戸地区青少年育成市町民会議連絡会 総会、役員会、研修協議会等出席 主催事業 ・広報誌「こんぱす」発刊による普及啓発活動 ・チャレンジウォーク ・愛宕山清掃活動	

○文化振興室

1. 事業関係

事業名	期日	事業内容	備考
1. 文化財保護審議会	5月11日(水) 7月25日(月) 12月1日(木) 2月13日(月)	指定文化財の巡視及び指定候補案件の調査及び答申 (全4回開催)	委員9名
2. 資料館運営委員会	5月18日(水)	歴史民俗資料館の事業計画について審議 資料館の利用状況報告	委員5名
3. 埋蔵文化財現地調査(試掘含)	随時	住宅建築等開発計画に伴う現地踏査及び試掘調査 試掘調査に基づき記録保存を要す場合の発掘調査 [照会125件、試掘35件] 本調査4件	市内全域
4. 文化財説明看板改修等	10月 2月 3月	重要文化財「木造薬師如来坐像」ほか説明看板設置(岩谷寺) 指定文化財「鰐口」ほか説明看板改修(如意輪寺) 指定文化財「香取小原神社の算額」説明看板改修・案内看板修繕(香取小原神社) 指定天然記念物「マキ」案内看板修繕(南友部)	
5. 文化財防火デーに伴う立入検査	1月16日(月)～18日(水)	市内文化財の消防用設備及び防災設備点検(市内34箇所)	
6. 市史研究事業	通年 (毎週木曜日)	史料等の整理、収集 広報かさま「かさまのれきし」執筆	郷土資料館 市史研究室
7. 第21回全国子ども陶芸展inかさま	7月22日(金)～ 8月31日(水)	全国の小中学生を対象とした陶芸展 応募作品数: 1,325点(前回1,335点) 陶芸展来場者数: 2,893名(前回2,272名) 表彰式 7月22日 全国子ども陶芸展出品作品の制作教室 市内小学校10校・中学校3校・義務教育学校1校 制作点数 840点(前回1,065点)	
8. かさま音楽フェスタ～奏～【事業終了】	12月11日(日) 2月16日(木)	質の高い芸術鑑賞機会を提供するためのクラシックコンサートのほか、未就学児が生演奏の音楽を体験するためのキッズコンサートを開催した。 クラシックコンサート 会場 笠間公民館 来場者数 482名 キッズコンサート 会場 大沢保育園、すみれこども園 鑑賞者数 271名	
9. 【改定】芸術鑑賞事業	通年	市民を対象に芸術文化の鑑賞機会を提供し、芸術文化意識の高揚を図るとともに、地域資源の活用を促進した。 対象者 65歳以上の市民と同伴の市内在住家族1名 毎月7日(休館日の場合は翌開館日)は全市民対象 来館者数 1,188名(前年度1,104名)	笠間日動美術館
10. ふるさと笠間を描く-郷土画家による風景画の饗宴-	(学校巡回展) 5月30日(月)～ 12月23日(金)	コロナ禍により制作活動が制限された地元画家支援のため、市内風景を題材にした絵画制作を依頼。作品を展示することで文化芸術活動の成果披露や芸術文化に触れる機会を創出した。 学校巡回展 対象 市内8小中義務教育学校 企画展 会期 2月3日(金)～3月2日(木) 会場 笠間日動美術館 長谷川仁・林子記念室 来館者数 2,713名	

事業名	期日	事業内容	備考
11. 笠間城跡保存整備調査事業	(委員会) 5月7日(土) 3月7日(火) (歴史フォーラム) 2月19日(日)	笠間城跡調査指導委員会の開催 笠間城跡周辺の微地形測量、数値地形図作成の実施 発掘調査の実施(正福寺跡) 第8回 歴史フォーラム「石塔が語る中世-宍戸荘岩間上郷からのアプローチ」を開催 講演 岩間不動院の五輪塔をめぐって-八田知家とその忠臣のものがたり- 講師 茨城大学人文社会科学部教授 高橋 修氏 講演 岩間上郷の石塔と考古遺物 講師 上高津貝塚ふるさと歴史の広場学芸員 比毛君男氏 来場者数 240名	委員6名 笠間公民館
12. 歴史展示コーナー運営事業	通年	かさま歴史交流館2階歴史展示コーナーにおいて、笠間城や笠間の偉人を紹介した。 パネル展 笠間市内の城郭① 会期 4月29日(金)～6月5日(日) パネル展 小野友五郎博士ちゃん展 会期 10月18日(火)～11月30日(水)	
13. 筑波海軍航空隊展示運営事業	通年	筑波海軍航空隊記念館を指定管理による運営を実施した。	
14. 日本遺産推進事業	通年	・有料ガイド化推進講習会の実施、日本遺産関連商品開発や体験型観光推進のためのセミナー等の実施 ・日本遺産構成文化財解説動画の制作、メディア向けファミツアーの実施、日本遺産案内板の設置 ・かさましこ推奨店事業の実施 かさましこ日本遺産推進講演会in笠間の開催 期日 11月27日(日) 会場 笠間公民館 講演 華麗なる江戸時代のやきもの～古伊万里・京焼・茶陶～ 講師 学習院大学文学部哲学科教授 荒川正明氏 来場者数 115名	
15. 牧野貞喜没後200年記念事業	11月11日(金) ～ 12月18日(日)	特別展「没後200年 牧野貞喜展」の開催 期間 11月11日(金)～12月18日(日) (33日間) 場所 笠間公民館 2階展示室 来場者数 716名 講演会の開催 講演 牧野貞喜の生涯-苦悩する名君と政治改革- 期日 11月11日(金) 講師 市史研究員 南 秀利氏 来場者数 55名 講演 牧野貞喜の藩政改革と名君のいわれ 日時 12月3日(土) 講師 市史研究員 矢口圭二氏 来場者数 55名 図録の制作 仕様 A4、44頁、フルカラー 発行部数 500部 販売価格 1,000円(税込)	臨時事業
16. 【新規】大日堂保存活用事業		大日堂の公開に向けて各種整備事業を実施した。 委託業務 測量業務、設計業務、伐根・伐採業務等 工事請負 外構等工事、板塀設置工事、敷石設置工事、 看板設置工事、水道新設工事、防犯カメラ設置工事等	

2. 関係団体

団 体 名	期 日	事 業 内 容	備 考
笠間市文化協会	通年	市民の文化に対する認識と創造性の啓発により、文化全般の振興と、各種文化団体の交流を図り、豊かなまちづくりに寄与した。 <ul style="list-style-type: none"> ・会報誌「ほほえみ」(第19号)発行 ・You・遊文化スクール 茶の湯体験・和洋芸術文化鑑賞会開催 ・交流研修会 ・公民館まつり等への協力及び参加 ・とくとくアートギャラリー作品展示【中止】 	
笠間市文化財愛護協会	通年	笠間地域における文化財について調査研究を行い、その保護と顕彰に努め、愛護精神と郷土愛の心を高めた。 <ul style="list-style-type: none"> ・講演会開催【延期】 ・小学生郷土教室開催【延期】 ・児童・生徒郷土研究発表会開催【中止】 ・文化財読本シリーズ52発行 ・視察研修【中止】 	

令和5年度事業計画

○社会教育グループ

1. 事業関係

事業名	期日	事業内容	備考
1. 社会教育委員	5月25日(木)	笠間市社会教育委員会議並びに公民館運営審議会 ・令和4年度事業報告 ・令和5年度事業計画説明	笠間市役所
2. 【新規】コミュニティ・スクール事業	通年	「地域とともにある学校づくり」を推進するために、学校と保護者や地域が連携した事業の実施を支援する。	各学校
3. 家庭教育学級事業	5月～3月	市内全域の幼稚園、保育所(園)、こども園、小中学校、義務教育学校の保護者を対象に、各学年に応じ家庭での教育力の向上を図るため指導助言や講演会等を行う。 ・研修会意見交換会等を行う。 ・保健センターでの3～4か月児相談時に、家庭教育に関する講話を行う。	各学校等
		市内の事業所の従業員、担当者を対象に、家庭教育に関する講話及び資料配布等を行う。	市内企業
4. 人権教育推進事業	11月	市民の人権意識の高揚を図るとともに、人権問題に対する理解と認識を目的に、一般市民、学校関係、各種団体を対象に講演会を開催する。	
5. 青少年相談員事業	通年	地域の青少年健全育成の推進を目的に、学識経験者並びに学校等の推薦者42名で、訪問活動などを行う。 ・笠間市リーダースクラブとの共同活動 ・青少年の健全育成に協力する店への訪問活動 ・研修会等への参加 ・茨城県青少年相談員第3ブロック研修会への参加	
6. 二十歳の集い事業	令和6年 1月7日(日)	人生の門出を祝福して二十歳の集いを行う。	笠間市民体育館
7. 寺子屋事業	開催時期 5月～3月 毎週 土曜日 9:00～ 12:00	学校休業日に子ども達の活動や学びの機会づくりの一つとして事業を実施し、学力の向上学習意欲の高揚を目的に実施している。 ・開講式(5.13) ・小学5・6年生を対象に英語・国語・算数・自主学習を行う。 ・夏休み期間に実施する、夏季特別講座8日間開催	笠間公民館 友部公民館 岩間公民館
8. 笠間市リーダースクラブ(高校生会)	通年 ※定例会：毎月第1、3木曜日	高校生による自主活動により会員相互の親睦を図り、学生生活のあり方・自己の向上・地域のボランティア活動等を目的に活動。 ・青少年相談員との共同活動 ・主催事業の開催 ・市教育委員会及び関係団体事業への協力 ・他市町村高校生会との交流 ・県主催の研修活動への参加	定例会：地域交流センターともべTomoa

団 体 名	期 日	事 業 内 容	備 考
9. いばらきっ子郷土検定事業	市町村大会 10月中旬 県大会 2月上旬	子どもたちの郷土を愛する心を醸成するために、茨城県独自の郷土検定を行う。 ・市町村大会は、各中学校、義務教育学校において実施。市町村問題と県問題により個人、団体認定表彰。 ・県大会は、市町村代表校によるクイズ形式対抗戦により優勝校を決定	県内全中学 義務教育学校 2年生・8年生
10. 学校生活学習支援事業	開催時期 7月～2月 毎週土曜日 13:15～15:50	かさま チャレンジ・スタディールーム 生活困窮状態にある世帯の中学生とその保護者等に対し、学習支援や教育相談を行い、学習習慣、生活習慣の確立や学習意欲の向上を図る。 対象：中学1年生～3年生 義務教育学校7年生～9年生	笠間公民館 友部公民館 岩間公民館
11. 笠間市自然体験学習補助金	通年	社会教育関係団体が市内小学生を対象とした事業を展開していくために必要な経費に対する補助金を交付する。	
12. 公営住宅入居者学習支援事業	通年 毎週月・木曜日 18:00～21:00	稲田小中学校に通学している小学5年生～中学3年生を対象に、学習支援教室を実施。児童生徒の学習意欲の向上や子育て世帯の負担軽減を図り、福原地区への定住者の増加を目的とする。	県営福原ア パート集会所

2. 関係団体

団 体 名	期 日	事 業 内 容	備 考
笠間市子ども会育成連合会	通年	単位子ども会支援事業 ・各単位子ども会の活動・運営の補助をし、個々の自立化と成長を図る。また、地域の活性化、各単位子ども会で抱えている問題解決などの社会的貢献が可能になり、事業について、改めて考えてもらう機会となる。	
	8月11日 (金・祝)	親子レクリエーション事業 ・親子レクリエーションを通して、親子の信頼関係やコミュニケーション能力を高めると共に、子どもの自己肯定感や社会性を育む。	笠間市民 体育館
	募集案内 7月中旬 審査 9月上旬	夏休み子ども作品コンクール ・市内の子どもたちに、創作活動をとおして、自分のアイデアや感性を具現化させることにより、創造性や表現方法の発達を図る。また、他者の作品に触れることで、自由な創造力を発揮する場の提供になり、多様性や個性を尊重する姿勢を育むことに繋がる。 【展示：9月上旬～下旬、部門：4部門（硬筆・毛筆・絵画・親子作品）、場所：北山公園休憩施設】	
	10月予定	笠間市・矢板市子ども交流事業 ・姉妹都市である矢板市子ども会との交流を図ると共に、多様な文化や歴史、価値観に触れることにより、自分の能力や可能性を広げることができる貴重な機会となる。 ・開催地は、笠間市と矢板市で隔年で開催。	栃木県 矢板市
	2月予定	リーダー研修会 ・各単位子ども会の中心となる「子ども会長」を集め、リーダーとしての自覚を養い、主体性や協働力を育む。また、リーダー間の交流を深めると共に、子ども会を超えた親睦と友達づくりを図る。	
笠間市地域女性団体連絡会	通年	・各種募金運動 ・全国地域女性団体連絡会大会他各種会議 ・茨城県地域女性団体連絡会女性のつどい	

団 体 名	期 日	事 業 内 容	備 考
青少年育成岩間地区 市民の会	通年	水戸地区青少年育成市町民会議連絡会 総会、役員会、研修協議会等出席 主催事業を実施 ・チャレンジキャンプ ・愛宕山清掃活動 ・広報誌「こんぱす」発行による普及啓発活動	
笠間市PTA連絡協議会	通年	・茨城県PTA連絡協議会総会等へ出席 ・指導者研修会 ・ママさんバレーボール大会	

○文化振興室

1. 事業関係

事業名	期日	事業内容	備考
1. 文化財保護審議会	通年	指定文化財の巡視及び指定候補案件の調査並びに答申（視察研修を含む全4回の開催）	委員9名
2. 資料館運営委員会	4月	令和5年度事業計画（案）について審議 令和4年度事業、資料館の利用状況について報告	委員5名
3. 埋蔵文化財現地調査（試掘合）	随時	住宅建築及び開発計画に伴う現地踏査並びに試掘調査 試掘調査に基づき記録保存を要する場合の発掘調査	市内全域
4. 文化財説明板設置		指定文化財説明看板等の設置	3箇所予定
5. 文化財防火デーに伴う立入検査及び防火訓練	1月	市内文化財の消防用設備及び防災設備点検 笠間稲荷神社防災訓練の実施	市内30箇所予定
6. 市史研究事業	通年	かがやく笠間の先人たち【改訂版】の発行 史料等の整理、収集 広報かさま「かさまのれきし」執筆	郷土資料館 市史研究室
7. 第22回全国こども陶芸展inかさま	7月21日（金） ～ 8月31日（木）	全国の小中学生を対象とした陶芸展 表彰式 7月21日（金） 全国こども陶芸展出品作品の制作教室 市内小学校10校・中学校3校・義務教育学校1校 制作予定点数 844点 第21回に引き続き応募作品を全点展示する。 第20回以来、内閣総理大臣賞を授与する。	主催 笠間市 笠間市教育委員会 茨城新聞社 会場 茨城県陶芸美術館
8. 【改定】芸術鑑賞事業	通年	市民を対象に芸術文化の鑑賞機会を提供し、芸術文化意識の高揚を図るとともに、地域資源の活用を促進する。 対象者 65歳以上の市民と同伴の市内在住家族1名 毎月第2土曜日（休館日の場合は翌開館日）は全市民対象	笠間日動美術館
9. 笠間城跡保存整備調査事業	通年 （歴史フォーラム） 2月予定	笠間城跡調査指導委員会の開催（2回） 笠間城跡周辺の微地形測量の実施、発掘調査実施（笠間城跡北西の遺構群） 笠間城跡ツアーの実施 第9回 歴史フォーラムの開催	委員6名
10. 大日堂保存活用事業	通年	大日堂の公開開始 公開日 月の第2・4日曜日 公開時間 午前9時～午後4時 拝観料 大人 500円 小人 300円 拝観申込み 拝観希望日の5日前までに申込み（事前予約制） 拝観方法 かさまコンシェルジュ等による案内付き拝観	
11. 【新規】富田家住宅保存活用事業		国の登録有形文化財、富田家住宅の活用に向けた駐車場整備やバス、トイレ、浄化槽設置工事のほか、建築物の補修、維持管理を実施する。	
12. 歴史展示コーナー運営事業	通年	かさま歴史交流館2階、歴史展示コーナーにおいて、笠間城や笠間の偉人等を紹介する。 パネル展 笠間市内の城郭② 会期 4月27日（木）～6月4日（日）ほか	

事業名	期日	事業内容	備考
13. 筑波海軍航空隊展示運営事業	通年	筑波海軍航空隊記念館を指定管理による運営を実施する。	
14. 【新規】歴史交流促進事業		台湾交流事務所開設5周年記念事業として、台湾で戦死し、台湾で神様と祀られる杉浦茂峰兵曹長（飛虎将軍）の企画展を開催する。	筑波海軍航空隊記念館
15. 【新規】連携中枢都市圏構想推進事業	11月	水戸芸術館の専属楽団、水戸管弦楽団の音楽に生で触れ、豊かな情操を育むことを目的に子どものための音楽会を開催する。	水戸芸術館
16. 日本遺産推進事業	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・有料ガイドの仕組みづくり、広報宣伝 ・テーマ別旅行商品の企画、販売 ・日本遺産関連商品開発のための試作品制作支援 ・かさましこ文化財公開の開催 ・日本遺産構成文化財等の調査研究 ・夏休み「かさましこ」自由研究コンテストの開催 ・ノベルティ等の製作 	

2. 関係団体

団体名	期日	事業内容	備考
笠間市文化協会	通年	<p>市民の文化に対する認識と創造性の啓発により、文化全般の振興と、各種文化団体の交流を図り、豊かなまちづくりに寄与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会報誌「ほほえみ」（第20号）発行 ・You・遊文化スクール開校 ・交流研修会 ・公民館まつり等への協力及び参加 ・とんとくアートギャラリー作品展示 	
笠間市文化財愛護協会	通年	<p>笠間地域における文化財について調査研究を行いその保護と顕彰に努め、愛護精神と郷土愛の心を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会開催 ・小学生郷土教室開催 ・児童・生徒郷土研究発表会開催 ・文化財読本シリーズ53発行 ・視察研修 	

○笠間市社会教育委員に関する条例

平成18年3月19日

条例第187号

改正 平成26年3月14日条例第11号

(趣旨)

第1条 この条例は、社会教育法（昭和24年法律第207号。以下「法」という。）第15条第1項及び第18条の規定に基づき、社会教育委員の設置、定数、任期その他必要な事項を定めるものとする。

(社会教育委員の設置)

第2条 法第15条第1項の規定に基づき、社会教育委員（以下「委員」という。）を置く。

(委員の構成)

第3条 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、笠間市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が委嘱する。

(平26条例11・追加)

(委員の定数)

第4条 委員の定数は、20人以内とする。

(平26条例11・旧第3条繰下)

(委員の任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠により就任した委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(平26条例11・旧第4条繰下)

(委員の解嘱)

第6条 委員に特別の事情が生じた場合には、教育委員会は、その任期中であってもこれを解嘱することができる。

(平26条例11・旧第5条繰下)

(委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、委員に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(平26条例11・旧第6条繰下)

附 則

この条例は、平成18年3月19日から施行する。

附 則（平成26年条例第11号）

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

○笠間市社会教育委員会議運営規則

平成18年3月19日

教育委員会規則第23号

改正 平成26年3月26日教委規則第5号

(趣旨)

第1条 この規則は、笠間市社会教育委員に関する条例(平成18年笠間市条例第187号)第7条の規定に基づき、社会教育委員(以下「委員」という。)の会議運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(平26教委規則5・一部改正)

(議長及び副議長)

第2条 委員の会議(以下「会議」という。)には、委員の互選による議長、副議長各1人を置く。

(議長及び副議長の任期)

第3条 議長及び副議長の任期は、2年とする。

(議長及び副議長の職務)

第4条 議長は、会議を招集し、これを主宰する。

2 副議長は、議長を助け、議長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議の招集)

第5条 会議は、必要がある場合に招集するものとする。

2 前項の規定による招集は、会議開催の日時、場所及び会議に付すべき事件をあらかじめ通知して行う。

(会議の定足数及び議決)

第6条 会議は、在任委員の半数以上が出席しなければ、これを開くことができない。

2 会議の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(その他)

第7条 この規則に定めるもののほか、会議に関し必要な事項は、議長が会議に諮って定める。

附 則

この規則は、平成18年3月19日から施行する。

附 則(平成26年教委規則第5号)

この規則は、平成26年4月1日から施行する。